

答弁

①種類別に見た場合、太鼓踊り二十二団体、棒・かま踊り十八団体、民話劇七団体、人形劇一団体、踊り四十三団体、その他十三団体の合計百四団体であり、広報紙で紹介しており、今後は、ホームページでも掲載したい。②郷土芸能の意義等について子どもたちに理解を求め、小中学校、高校との連携で祭り等を観覧させたり、実際に体験させたりして郷土芸能に親しめる環境づくりが望ましい。その過程で、要望等があれば可能な範囲で支援も考えたい。③平成十八年度に見直しを行っているので現段階での増額は考えていない。ただ、東郷文弥節人形浄瑠璃については、今後検討していきたい。

④現在、四〇〇程度が未収録となっており、可能な限り保存するよう取り組んでいきたい。⑤現在も、伝統芸能、芸術の発表の機会を設けているが、今後は観光と絡み合わせた発表の場も検討してみたい。

各常任委員会 報告

各常任委員会は、それぞれ付託された議案の審査等を行い、主に次のような意見・要望が述べられ

企画経済委員会

委員長 堀之内 盛良

三月十四日・十七日開催

た。

(一) 薩摩川内市定住促進に関する条例の一部を改正する条例の制定について

①定住促進については、制度の検証を行い、新規事業も視野に入れながら、施策の充実を図られたい。

②定住促進補助事業の推進に当たっては、インターチェンジ周辺に団地造成を進めるなど、魅力ある住環境づくりの施策を検討されたい。

(二) 平成二十年度薩摩川内市一般会計予算のうち本委員会付託分

①限界集落対策については、ソフト事業が導入される際に、効果的な運用が図れるよう、プロジェクトチームの設置を検討されたい。

②本市生産物のブランド化を構築するに当たっては、近い将来、川内駅前にアンテナショップを開き、キビナゴ等をメインに県内外からの観光客を呼び込めるよう研究されたい。

③職員の資質向上のために民間企業から講師を招いて開催している研修会については、今後も継続し

て実施し、市民の生活向上の一助になるよう、職員の育成に努められたい。

④統合内部システム導入事業については、多額の経費を要することから、最少の経費で最大の効果が上がるようメーカーの選定について研究されたい。

⑤パブリックコメントについては、多くの市民から意見を拝聴できるシステムとなるよう研究されたい。

⑥第一次薩摩川内市農業振興基本計画については、本市農業の将来の展望が示されているが、これらの計画が遂行できるように、農業技術者の人材確保に努められたい。

⑦柳山アグリランド水源ボーリングについては、効果的な投資となるよう、今後、地区コミュニティ協議会への指導もされたい。

⑧畜産は、本市農業の大きなウエイトを占めることから、草地林地一体的利用総合整備事業については、関連のある畜産委員会とも連携を図りながら、事業の本質をとらえ、今後の甌島振興のために前向きに対応されたい。

⑨上甌島は水不足を生じている地域でもあることから、草地林地一体的利用総合整備事業の推進に当たっては、森林への影響を考慮した慎重な対応をされたい。

⑩甌島の漁業再生については、甌

島漁業協同組合とも協力しながら、魚が集まる漁礁を設置されたい。

⑪甌島を含め川内沖で捕れた水産物の流通ルートを早期に整備されたい。

⑫農業に係る新規補助事業を導入される際には、四十八地区コミュニティ協議会等を通じ、農業従事者へ事業内容の情報提供を早期にされたい。

⑬肥薩おれんじ鉄道の出水・鹿児島中央間の運行については、乗車率が順調に推移していくよう、今後、列車の車体広告だけでなく、室内の展示スペースなど、観光客等が楽しめるような施策について、関係機関等においても協議・検討するよう対応されたい。



肥薩おれんじ鉄道

⑭里交流センター甌島館の経営の現状を踏まえ、健全な運営となるよう指導されるとともに、温泉部門に係る指定管理料については、